

## 目標Ⅳ 男女がともに生きる社会の実現への意識づくり

男女がともに生きる社会を実現するためには、男女がお互いの人権を尊重しあうことが重要であり、一人ひとりが男女共同参画の意義を理解し、男女平等の意識を持って実践していくことが必要となってきます。

しかしながら、現実には、家庭や地域、職場などあらゆる場面で、古くからある性別による固定的な役割分担意識が社会の制度や慣行の中に存在しており、知らず知らずのうちに私たちの日々の行動に影響を与えています。こうした男女共同参画社会の実現を阻害するおそれがある社会通念、慣行、偏った意識等は、長年の積み重ねの中で形成されたものですが、あらゆる機会をとらえて意識啓発を行うとともに、男女に対して中立でない影響を及ぼす制度等については見直していく必要があります。

これらの意識改革には、継続的な啓発が必要であり、個人のライフステージに応じた多様な学習機会が提供されることが必要です。特に、男女共同参画意識を根づかせるには、子どもの頃からの教育・学習が重要な役割を果たすことから、教育機関での取組みも重要です。

男女共同参画社会の実現が世界共通の課題であり、女性の人権について国際的な理解が不可欠であることから、男女共同参画の視点に立った国際交流の推進に取り組めます。

### 【施策の方向】

1. 男女共同参画の浸透を図る学習・啓発の推進
2. 性別による固定的な役割分担意識の解消
3. 学校教育における男女共同参画の推進
4. 国際社会の理解や国際交流の促進

## 施策の方向1 男女共同参画の浸透を図る学習・啓発の推進

男女共同参画社会を実現するためには、性別にかかわらず、市民一人ひとりが、男女共同参画についての意識を持つことが不可欠です。このような意識の醸成を図るためには、学校だけでなく、家庭や社会の中で学ぶことも必要であり、そのための学習の果たす役割は重要です。

特に幼児期からの家庭教育や青少年期における人間形成の基礎づくりは、とても大切であり、男女平等や人権尊重などへの認識を深めるためには、保護者や教育関係者などが男女共同参画の視点に立って、子育てや青少年教育を進める必要があります。

そのため、性別による固定観念にとらわれず、多様な生き方を尊重する男女共同参画の意義について啓発を推進するとともに、正確な知識を持ち、理解を深めるため、子育て講座等、男女共同参画に関する学習の機会を提供します。

### 具体的な施策

#### (1) 男女共同参画の浸透を図る学習・啓発の推進

No.	推進項目	取組概要	担当課
53	男女共同参画に関する学習機会の提供	男女共同参画についての理解を促進し、男女共同参画意識を醸成するため、講演会等を開催します。	人権・同和・男女共同参画課
54	女性センター情報誌の発行	男女共同参画啓発や女性センターの周知等を行うため、女性センター情報誌「レインボー」を発行します。	人権・同和・男女共同参画課
55	男女共同参画に関する啓発	「男女共同参画週間」や「男女共同参画の日」を捉えて、広報おおむたやホームページを活用し、広く市民に向けて周知・啓発を行います。	人権・同和・男女共同参画課
56	男女共同参画に関する職員研修の実施	社会教育に携わる職員に対し、男女共同参画に関する理解を深めるため研修を実施します。	地域コミュニティ推進課 人権・同和・男女共同参画課

## (2) 家庭における意識啓発の促進

No.	推進項目	取組概要	担当課
57	就学前子育て講座の実施	小学校入学説明会の機会に家庭教育のあり方やしつけについての就学前子育て講座を実施し、男女共同参画の視点にたった積極的な子育ての参加を促進します。	生涯学習課
58	家庭教育講座の実施	地区公民館において家庭教育講座を実施し、男女共同参画の視点に立った積極的な子育てへの参加を促進します。	地域コミュニティ推進課

## 施策の方向2 性別による固定的な役割分担意識の解消

男女共同参画社会の形成のためには、社会制度や慣行が実質的に男女にどのような影響を与えるのか常に検討されなければなりません。

「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的役割分担意識は、出生後に周囲と関わりながら育つ中で、こうあるべきだとして身に付いた社会的文化的な性差（ジェンダー）と考えられます。このような役割分担意識にとらわれた家庭や社会生活の慣習の中では、男性も女性も、その個性と能力を十分に発揮することができませんし、ひいては地域や社会の損失につながります。

家族を構成する男女が、相互の協力と社会の支援の下に、子の養育、家族の介護その他の家庭生活における活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、かつ、職域、学校、地域等の活動に対等に参画できるよう、市民一人ひとりが固定的役割分担意識を払拭しなければなりません。

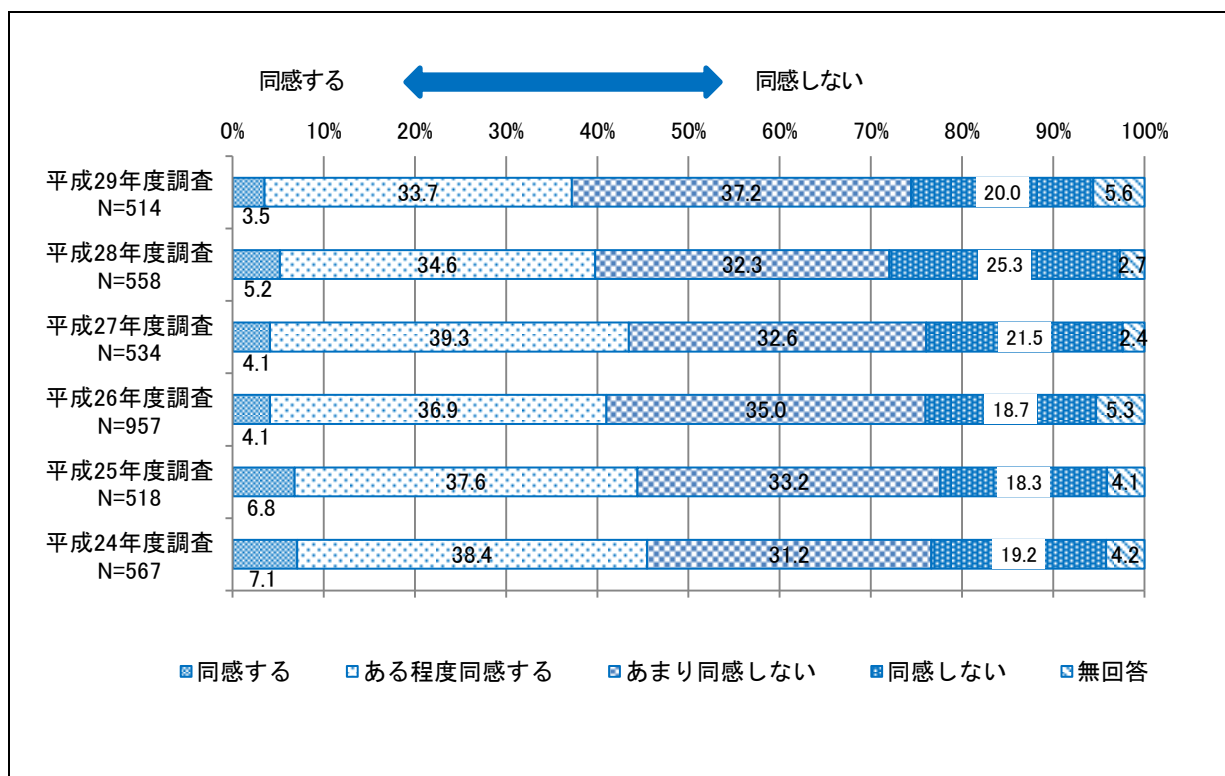
平成29年度「大牟田市まちづくり市民アンケート」では、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感しない」と「あまり同感しない」を合わせると57.2%となっており、平成24年度に実施した調査よりも6.8ポイント増加しています。

また、平成28年度「大牟田市男女共同参画に関する市民意識調査」によると、「男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい」という考え方に対しては、95%以上の方が、「賛成」または「どちらかという賛成」と回答しています。

しかし、家庭で、「炊事・掃除・洗濯などの家事」を主に担うのは、女性は「自分」74.9%、男性は「配偶者（パートナー）」66.9%と、それぞれ7割前後となっており、日常の家事は女性が担っている現実があります。

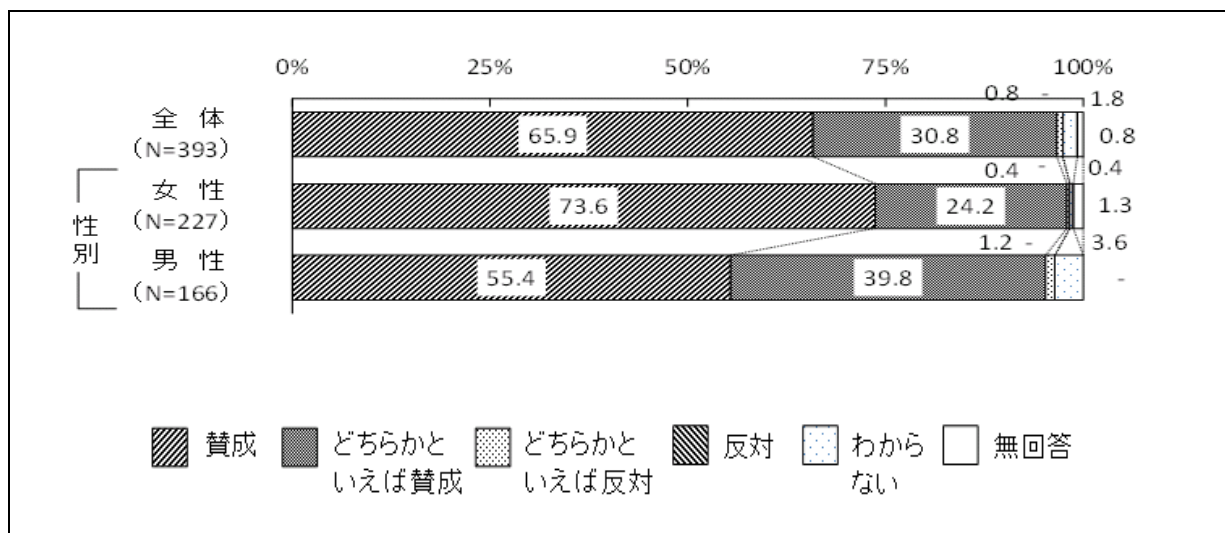
男女共同参画社会の形成のためには、性別による固定的な役割分担意識の解消が不可欠であり、家庭や地域、職場等において、あらゆる機会を通して、ジェンダーにとらわれない意識啓発を図ります。

### 「男は仕事、女は家庭」という考え方について（大牟田市）



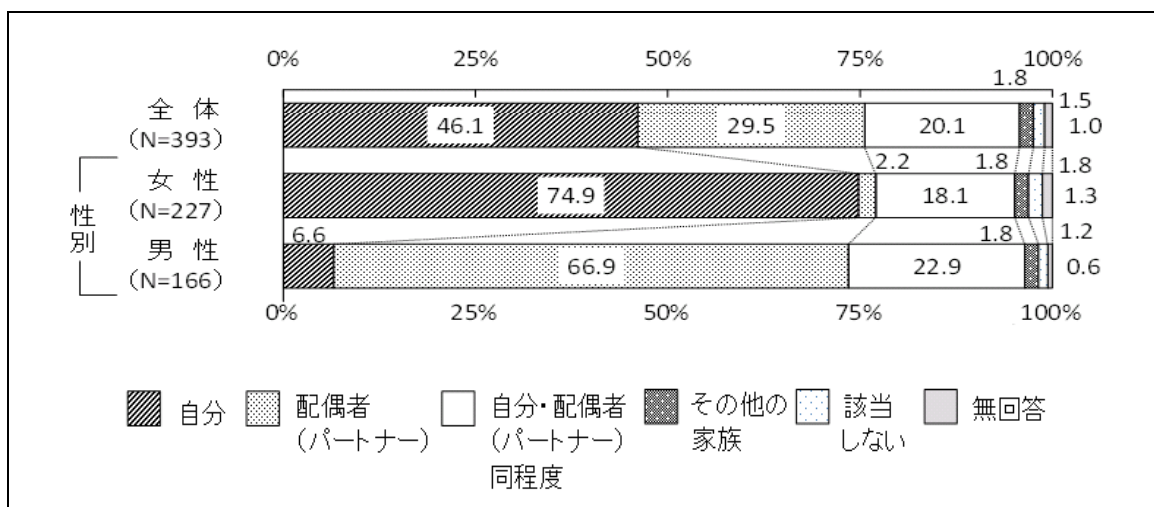
(資料：大牟田市まちづくり市民アンケート)

### 「男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい」という考え方（大牟田市）



(資料：平成28年度大牟田市男女共同参画に関する市民意識調査)

## 炊事・掃除・洗濯などの家事の役割分担（大牟田市）



(資料：平成 28 年度大牟田市男女共同参画に関する市民意識調査)

## 具体的な施策

### (1) 制度や慣行についての見直しを促進するための意識啓発

No.	推進項目	取組概要	担当課
59	固定的役割分担にとらわれない意識の啓発	性別による固定的な役割分担意識にとらわれない、制度や慣行についての見直しを促進するため啓発を行います。	人権・同和・男女共同参画課
60	行政広報・出版物における表現についての意識啓発	広報活動と広報紙編集について、新規採用職員に対しての研修や、広報実務担当者対象の「折り込み原稿作成講習会」を開催し、その中で、さまざまな人権問題や男女共同参画の視点等について説明を行います。	秘書広報課

### 施策の方向3 学校教育における男女共同参画の推進

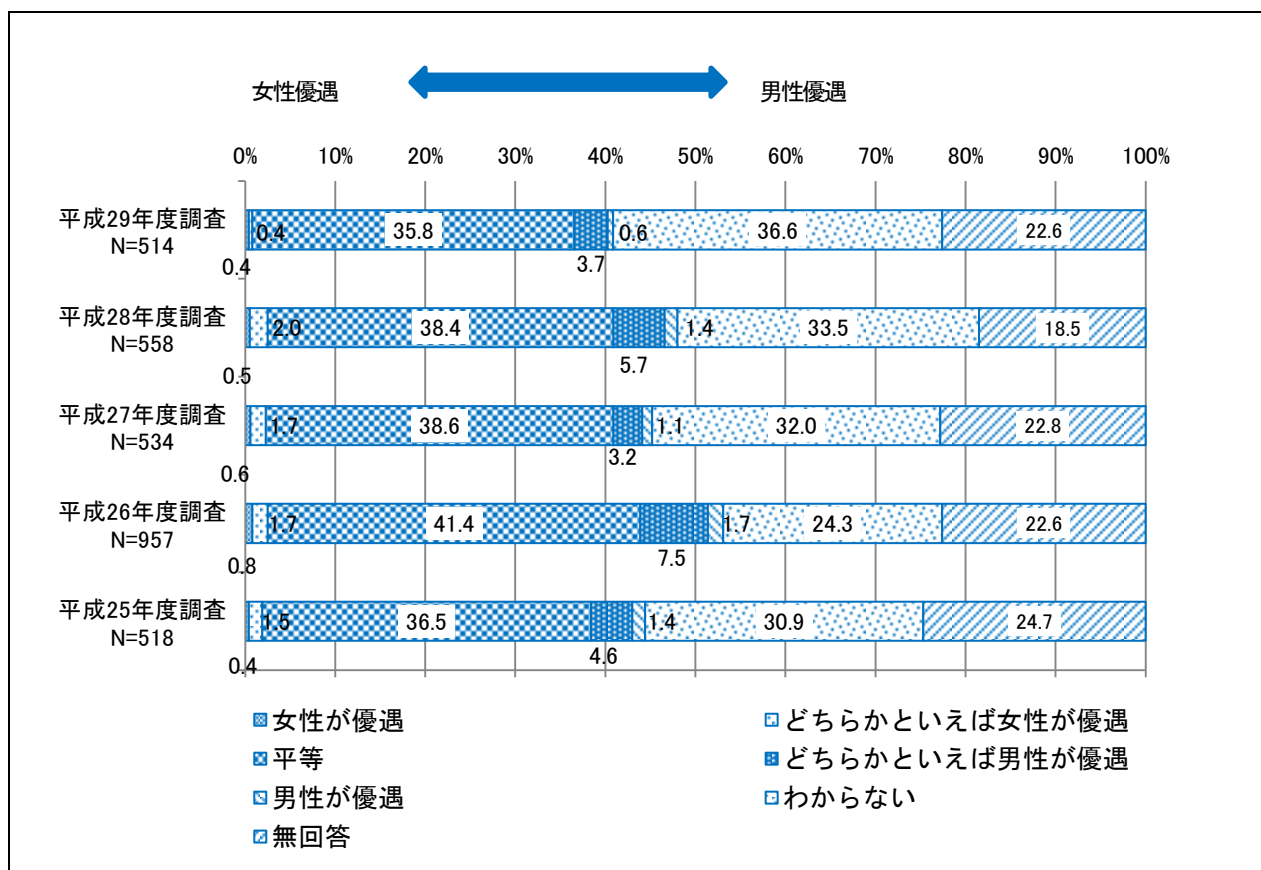
男女共同参画社会の実現のためには、大人だけではなく、人格形成期にあたる子どもたちに、男女の差別意識や固定的な性別役割分担意識を持たせないように教育していくことが必要です。

平成29年度「大牟田市まちづくり市民アンケート」によると、学校における男女の地位が平等であると回答した人の割合は、35.8%となっており、平成25年度に実施した調査結果とほぼ同率です。

また、平成28年度「大牟田市男女共同参画に関する市民意識調査」によると、「女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要」という考え方に対しては、95%以上の方が、「賛成」または「どちらかという賛成」と回答しています。

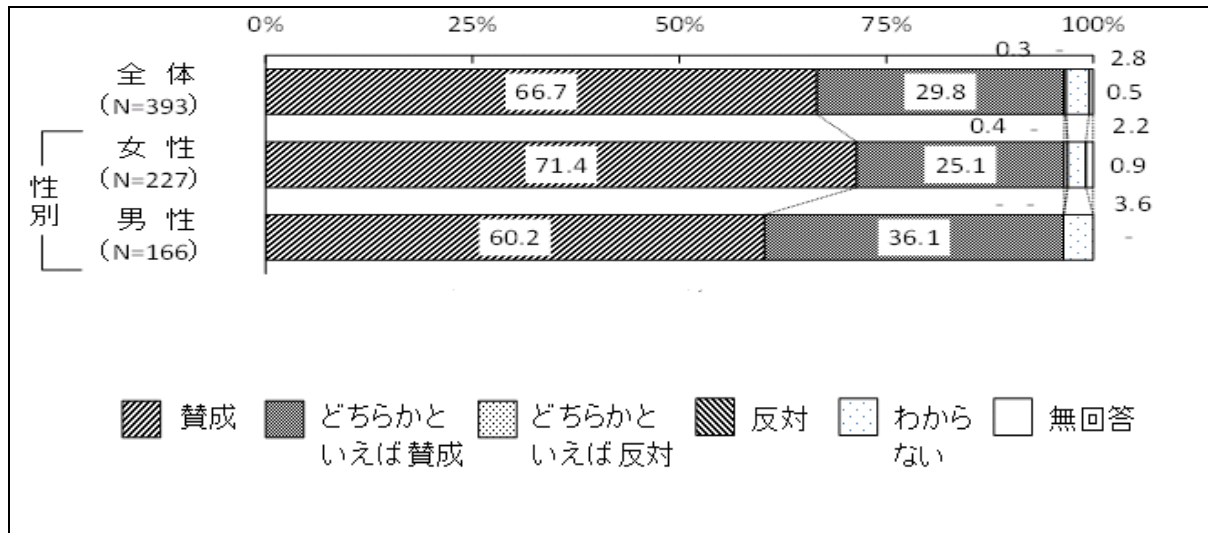
このような状況を踏まえ、学校教育においては、子どもたちに、男女平等の意識を育てるとともに、一人ひとりの個性や能力を発揮させ、伸ばさせる教育を推進します。同時に、一人ひとりが社会状況の変化に伴う様々な課題に対応できる「生きる力」を身につけられるよう、生涯を見通した総合的なキャリア教育を推進します。

学校における男女平等感（大牟田市）



(資料：大牟田市まちづくり市民アンケート)

「女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要」という考え方（大牟田市）



(資料：平成 28 年度大牟田市男女共同参画に関する市民意識調査)



## 具体的な施策

### (1) 学校教育における男女共同参画教育の推進

No.	推進項目	取組概要	担当課
61	学校教育全体を通じた指導の充実	県教育委員会が作成した「男女共同参画教育の手引」等を活用して、教育指導計画を作成し、学校教育全体を通じて、児童・生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばす男女共同参画教育の充実を図ります。	学校教育課 指導室
62	教職員の研修の充実	校長研修会や教頭研修会等を通じて、教職員の男女共同参画に関する理解の促進を図るために、研修の充実を進めます。教師用手引を積極的に活用します。	学校教育課 指導室
63	男女共同参画の視点に立った学校内の慣行の見直し	児童生徒の名簿については、男女共同参画の趣旨を踏まえ、その目的・用途に応じて作成します。併せて、学校行事や役割分担等の慣行について、改善を図ります。	学校教育課 指導室

### (2) キャリア教育の充実

No.	推進項目	取組概要	担当課
64	キャリア教育の充実	キャリア教育の指導計画に基づき、個々の生き方、能力、適性を考え、主体的な進路の選択ができる進路指導の充実を図ります。	学校教育課 指導室

## 施策の方向4 国際社会の理解や国際交流の促進

今日、あらゆる分野でグローバル化が進んでいます。国内においても、訪日外国人の増加、インターネットの普及等により、他国の文化に触れる機会が増えています。

男女共同参画社会の実現は、その取組みが昭和50（1975）年の「国際婦人年世界会議」から始まったことに示されるように、国際的な課題です。世界中の女性の地位向上とすべての女性と男性の人権が守られる社会を目指して、市民一人ひとりが男女共同参画の視点をもって、国際理解や国際交流を進める必要があります。

また、市内に住む外国人に対して、市民一人ひとりが多文化を理解し共生を進めることで、外国人も過ごしやすく、住みやすいまちを目指していく必要があります。

今後も、価値観や生活習慣について、お互いの文化的背景を理解し合いながら友好・姉妹都市との交流事業など、国際交流を促進するとともに、本市に居住する外国人に、多言語情報の提供などの支援を行います。

### 具体的な施策

#### (1) 国際社会理解のための交流事業の推進

No.	推進項目	取組概要	担当課
65	国際交流事業の開催	国際協力事業や友好姉妹都市交流事業などへの参加を促進し、海外の男女共同参画状況の理解を深めます。	総合政策課

#### (2) 在住外国人への支援

No.	推進項目	取組概要	担当課
66	在住外国人への多言語情報の提供による支援	英・中文版市勢要覧ダイジェスト版の発行及び英文大牟田市ホームページの更新を行います。また、外国語生活ガイドや外国人相談窓口の紹介を行います。	総合政策課